

「ブラジル移民住宅保存修理工事」竣工記念式典

平成29年4月28日(金)愛知県犬山市にあります、博物館明治村において「ブラジル移民住宅保存修理工事」の竣工記念式典と内覧会が開催され、中津川市から姉妹都市友好推進協会 杉本 潤会長が出席し、在名古屋ブラジル連邦共和国総領事館 アルナウド総領事をはじめ犬山市 小澤副市長、小牧国際交流協会 神戸常務理事、博物館明治村 吉田所長とともに、竣工記念のテープカットなどを行いました。

「ブラジル移民住宅」は登録有形文化財に登録されており、平成27年12月より保存修理工事がはじまり、平成29年3月に無事工事が終了しそれを記念して式典が開催されました。

式典の開催日であります、4月28日は、第1回ブラジルへの移民781名を乗せた笠戸丸が神戸港からブラジル・サントス港へ向け出向した記念すべき日です。

また、レジストロ市から友好親善団(2005年・2010年)が中津川市を訪問した際には、明治村を訪問し「ブラジル移民住宅」を見学させて頂きました。

